

# 校長室だより(No.1)

令和3年4月8日  
丹波市立黒井小学校長  
谷口 千尋

令和3年度の黒井小学校では、4月8日の入学式で、37名の新入生迎え児童数184人での出発となりました。入学式に先立って行いました4月7日の始業式では、それぞれの担任、担当教科等の文章を子どもたちに発表いたしました。あわせて私から子どもたちに、令和3年度に努力してほしい3つのことをお話しました。これは、学校教育目標とも関連したものです。あわせて令和3年度学校経営方針もご覧いただければ幸いです。



最初に、新しい学年になって、皆さんが持っている「新たな気持ち、新鮮な思い」を大切にしてください。これから1年間、友だちや担任・担当の先生方と力を合わせて頑張ってください。その上で、私から3つをお話しました。これをこの1年間、一人ひとりの気持ちの中にしっかり持って過ごしてもらいたいと考えています。

## 「友達や家族、まわりの人を大切にする」

自分の命や友達の命を大切にしてください。具体的には、きちんとした挨拶や言葉づかいを大切にしてください。相手を尊重するおおもとは、ここにあると考えます。その上で、自身の命や他人の人権を大切にしてください。人とつながり学びを充実させていくことは、黒井の子どもたちがずっと続けてきたことでもあります。多様な他者とつながり学びを深めることは、これからの社会で求められる大切な力の一つです。人を大切に、人とつながる黒井っ子になってほしいと思います。



## 「苦手な事にも挑戦すること」

誰にも苦手なこと、得意でないことがあります。自分の得意なことから目を背けたり、逃げたりしないで課題としっかり向き合ってください。出来た、出来なかったより、出来るようになるために子どもたちがどう努力したかを大切にしてください。「結果より経過を大切に」して、こつこつ取り組めば必ず力がつきます。自分の目標をしっかりとって努力できるようになってほしいと思います。

## 「人のために努力できる人になること」

最初に話しました「自分やまわりの人を大切にすること」、二つ目にお話した「苦手な事でもこつこつ努力すること」とおして、他人の役に立ちましょう。自分ができたことを人に教える。わかったことを伝えていく、自分のためだけでなく、友だちや周りの人のためにちょっと頑張ってみましょう。今年2021年は、東京でオリンピックが開催されます。これまでも素晴らしい結果を残す選手の多くは、自

分のためだけではなく、母国で応援してくれているみんなのためという思いを持っています。「人のためには…」素晴らしい力になると考えています。子どもたちに人のために努力できる人になってほしいと考えています。